

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公表番号】特表 2003-501345 (P2003-501345A)

【公表日】平成 15 年 1 月 14 日 (2003.1.14)

【出願番号】特願 2000-594482 (P2000-594482)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/485 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 15/00 1 7 1

A 6 1 P 15/10

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/485

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 19 日 (2007.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

男性患者の勃起不全の治療に使用するための血管内皮成長因子を含む医薬組成物であって、該血管内皮成長因子を、患者の陰茎への血液供給を増加または維持するために有効な量で含む医薬組成物。

【請求項 2】

前記血管内皮成長因子が、VEGF-A 205/206、VEGF-A 188/189、VEGF-A 164/165、VEGF-A 144/145、VEGF-A 120/121、または VEGF-A 110 である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記医薬組成物が、静脈内に、局所的に、経皮的に、経口的に、または注射によって投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記医薬組成物が、陰茎に注射される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記医薬組成物が、海綿体 (corpora cavernosa) 組織に注射される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記医薬組成物が、スポンジ体 (corpus spongiosum) 組織に注射される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

男性患者の勃起不全の治療に使用するための、血管内皮成長因子をコードする遺伝子を含む核酸を含む医薬組成物であって、該核酸が血管内皮成長因子を発現する条件下で、患者の適切な細胞に導入される医薬組成物。

【請求項 8】

前記核酸がベクターを含む、請求項 7 に記載の医薬組成物。